

小寺記念精神分析研究財団主催（2025 年度）

力動的理解にもとづくロールシャッハ解釈

2021 年度から開講したロールシャッハセミナーで、2025 年度で第 5 期を迎えます。

多くの臨床実践が、精神分析の影響を受けながら発展してきました。ロールシャッハ法はこの代表例の一つと断言していいでしょう。かつては David Rapaport や Roy Schafer をはじめとした優れた精神分析家が、この臨床技法の体系化に貢献しました。本邦でも、小此木啓吾と馬場禮子が体系化した力動的理解の手法は、生きた事例理解を可能にするものとして、広く現場に受け入れられています。

本セミナーでは、この小此木・馬場による解釈技法を足がかりにしなが、ロールシャッハ事例を紐解いていきます。

毎、事例提供者のプレゼンテーションに対して、講師 2 名が見立てと理解を示します。事例提供者を交えた 3 名の討論に、セミナー参加の皆様が加わることで、多角的な事例理解が展開することでしょう。

このセミナーでは、「担当講師から正解を学ぶ」という非臨床的なスタンスから脱却し、臨床素材から自由に連想し、生きた対象者理解を得られることを目指したいと思います。

ロールシャッハ法を通して、臨床素材を分析的に考える視点を学びたい皆様のご参加をお待ちしています。

講師：吉村 聡（上智大学）、北村麻紀子（個人開業）、
人見健太郎（みとカウンセリングルームどんぐり）

対象：ロールシャッハ法の基本を習得している者（経験年数は問わない）

※ ロールシャッハ体系は、片口法または包括システムに準拠する

開催形態：現地と Zoom 併用によるハイブリッド方式

現地＝小寺記念精神分析研究財団セミナールーム

定員：50 名（現地参加定員 12 名 [先着順] を含む）

日時：全 6 日間（第 4 日曜、13 時半～17 時 00 分）

入門編（講師による講義と事例解説）：5/25

「ロールシャッハ法と病態水準－精神病水準を中心に」

事例検討編：6/22、7/27、8/24、9/28、11/23

受講料：36,000 円

※ 本セミナーは臨床心理士の資格更新のための「定例型研修会」として承認されています。

申込方法：下記 URL または QR コードよりお申し込みください。

<https://forms.gle/RQQQefVBbCz88Div6>



申込期間：2025 年 3 月 25 日（火）～5 月 11 日（日）

問合せ先：小寺記念精神分析研究財団 事務局 kodera.fps@gmail.com